



平成 28 年 9 月 26 日

各 位

会社名 株式会社 松屋  
 代表者 代表取締役社長執行役員 秋田 正紀  
 (コード番号 8237 東証第一部)  
 問合せ先 総務部 I R 室担当課長 関 泰程  
 (TEL. 代表 03-3567-1211)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 4 月 14 日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### ●業績予想の修正について

平成 29 年 2 月期第 2 四半期 (累計) 業績予想数値の修正 (平成 28 年 3 月 1 日～平成 28 年 8 月 31 日)

##### (1) 連結

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	46,000	1,100	1,100	700	13 円 21 銭
今回発表予想 (B)	41,700	250	310	380	7 円 17 銭
増減額 (B-A)	△4,300	△850	△790	△320	—
増減率 (%)	△9.3	△77.3	△71.8	△45.7	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 2 月期第 2 四半期)	45,254	1,411	1,522	879	16 円 61 銭

##### (2) 個別

(金額の単位：百万円)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	41,000	1,200	500	9 円 43 銭
今回発表予想 (B)	36,500	490	320	6 円 04 銭
増減額 (B-A)	△4,500	△710	△180	—
増減率 (%)	△11.0	△59.2	△36.0	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 2 月期第 2 四半期)	40,155	1,720	1,035	19 円 54 銭

平成 29 年 2 月期通期業績予想数値の修正（平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日）

(1) 連結

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	95,000	2,700	2,700	1,800	33 円 98 銭
今 回 発 表 予 想 (B)	86,000	1,100	1,100	700	13 円 21 銭
増 減 額 (B-A)	△9,000	△1,600	△1,600	△1,100	—
増 減 率 (%)	△9.5	△59.3	△59.3	△61.1	—
(ご参考) 前期通期実績 (平成 28 年 2 月期)	92,914	2,691	2,890	1,185	22 円 37 銭

(2) 個別

(金額の単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	84,000	2,600	1,500	28 円 29 銭
今 回 発 表 予 想 (B)	76,000	1,300	700	13 円 20 銭
増 減 額 (B-A)	△8,000	△1,300	△800	—
増 減 率 (%)	△9.5	△50.0	△53.3	—
(ご参考) 前期通期実績 (平成 28 年 2 月期)	82,357	2,410	1,098	20 円 72 銭

修正の理由

期初計画では、主力の百貨店業における免税売上高を前年並みで見込んでおりましたが、第 2 四半期（累計）につきましては訪日外国人の買い上げ単価が前年の 7 割程度に下落したことにより免税売上高が減少したため、百貨店業の売上高が前年を下回って推移いたしました。このため、足元の業績動向を踏まえ、第 2 四半期（累計）および通期の業績予想を見直した結果、連結・個別の売上高が前回予想を下回る見通しとなり、それに伴い各利益段階もそれぞれ前回予想を下回る見通しとなりましたので、業績予想を修正いたします。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上